

対馬の夏

2004厳原港まつり・対馬アリラン祭

対馬の夏を代表するイベント「2004厳原港まつり・対馬アリラン祭」が8月7、8日の2日間、猛暑の中、厳原町で開催され、観客数3万2500人（内韓国人客1400人）で賑わいました。

まつりは、7日、午前10時の水上棒取り合戦で開幕し、昼からは子どもみこしが、町内15地区、約500人が参加して行われました。そろいのハッピを着た子どもたちは、対馬南警察署を出発して厳原港ターミナル近くのメイン会場までの約3kmのコースを、元気にみこしを担いで歩きました。

メイン会場では、午後2時30分から海上保安部の「1日部長」「1日船長」の任命式や巡視船「でじま」の体験航海も行われました。5時30分からは「演芸の夕べ」「対馬観光キヤンペーンレディ」の任命式、園児の踊りや鼓笛隊、陸上自衛隊の太鼓、韓国の舞踊などが演じられました。

8日は、午前8時のゲートボール大会からスタートし、舟グロ大会、キャラクターショーなどがメイン会場で行われました。

まつりのハイライト、朝鮮通信使行列は、自衛隊音楽隊、ペギンセ舞踏団、通信使行列女性・子供マチョゴリ行列など約430人が、対馬市役所近くの金石城やぐら門を出発し、韓国の伝統舞踊や音楽を披露しながら、約2kmのコースを練り歩きました。沿道を埋めた観客は、華やかな行列に大きな歓声を上げ、手にしたカメラで次々と写真を撮っていました。

行列がメイン会場に到着すると国書交換式の再現が行なわれ、正使役の安準泰（アン・ジュンテ）釜山広域市政務副市長）と宗対馬守役の木谷博昌助役が日韓両国の友好を約束しました。

まつりの最後は、2000発の花火が夜空を彩り、ファイナレを飾りました。

通信使行列



チマチョゴリ行列



正使役の安準泰 釜山広域市政務副市長



釜山情報女子高



対馬高校国際交流コースのサムルノリチーム



12チームが参加した「舟グロ大会」



まつりの最初に行われた「水上棒取り合戦」



人間カーリング(移動アリラン隊)



1日保安部長：山下さやかさん 1日船長：波田美穂さん



團児もみことな演技(演芸の夕べ)



ペギンセ舞蹈団



陸自第四音楽隊の演奏



釜山広域市海雲台教育庁チーム

対馬観光キャンペーンレディ



田中砂登美さん(玉調)



齋藤留美さん(小茂田)



阿比留奈津美さん(天道茂)